広報かのや
Kanoya
KANOYA CITY PUBLIC RELATIONS

11
November
2017
No.285

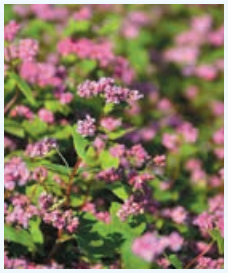
特集

「農家民宿」、はじめました。

ひと・まち・産業が躍動する「健康・交流都市 かのや」

広報かのや
Kanoya
KANOYA CITY PUBLIC RELATIONS

11 November 2017 No.285



今月のカバー

赤いそば「高嶺(たかね)ルビー」

かのやばら園内に咲く赤いそばの花。NPO法人「ローズリングかのや」による「みんなの赤そばプロジェクト」で育てているそばです。11月18日(土)には誰でも参加できる「収穫体験」、12月には「そば打ち体験」も予定されています。

目次 contents

03 明日への扉
假重 健二 さん

04 特集
「農家民宿」、はじめました。

08 街フォトスクラップ

11 **栃木県小山市と協定締結**

12 **かのやで創業してみませんか!!**

14 認知症初期集中支援チーム

16 障がい者ボランティア

18 情報掲示板

23 まちの保健室

24 市民のひろば

25 地域おこし協力隊かのや活動レポート、今月のプレゼント

26 スポットライト

27 大人の社会見学
下方の六地蔵

統計情報

平成29年10月1日現在(前月比)

- 人口／ 103,036人 (＋54)
- 男性／ 49,305人 (＋24)
- 女性／ 53,731人 (＋30)
- 世帯／ 45,506世帯 (＋30)
- 面積／ 448.33㎢

市の花 ばら

スヴニール・ドゥ・ルイ・アマード

波打つ花びらのオープンカップ咲きで、強い香りが魅力。花名は“ルイ・アマードの想い出”の意。名曲『バラはあこがれ』の作詞者ルイ・アマードに捧げられたバラ。

鹿屋市広報

- 鹿屋市ホームページ
  http://www.e-kanoya.net/
- 鹿屋市公式 facebook
  https://www.facebook.com/Kanoya.City
- 鹿屋市ラジオ広報番組
  FMかのや(77.2MHz)
  (月～金曜日、8:05～と16:05～)

Rena Theater

映画情報 関ヶ原

関ヶ原

戦乱の世に終止符を打った「関ヶ原の戦い」をテーマにした、司馬遼太郎原作・累計部数590万部超の国民的ベストセラーを、岡田准一、役所広司、有村架純などの豪華キャストで映画化！

11/25(土)～12/22(金)

◎上映時間(150分)
①10時～ ②13時～ ③16時～ ④19時～

◎鑑賞料
一般／1,800円 大学生／1,500円
高校生以下／1,000円 60歳以上／1,000円

問リナシティかのや ☎0994-35-1001

※上映期間・時間・鑑賞料は変更する場合があります。
※特別割引券は、1枚に付きお一人限りです。
また他の割引券との併用はできません。

割引券をお持ちの人は300円(高校生以下は200円)を割引します。
※60歳以上の人は割引対象外です。

特別割引券 関ヶ原

No.36

明日への扉

お客様に喜ばれるものづくりを目指して

假重（かりしげ） 健二（けんじ） さん

昭和53年志布志市（旧有明町）出身。鹿屋農業高校、鹿児島測量専門学校（現・鹿児島工学院専門学校）を卒業後、県内の建設会社等を経て平成26年から株式会社上之段（うえのだん）建設（東原町）に勤務。現場監督として様々な工事を担当する。資格は一級土木施工管理技士など。（39歳）

今年度創設された「鹿屋市優良工事等表彰」では、假重さんを含む17人が優良工事に携わった監理・主任技術者である「優秀技術者」として表彰され、５月に表彰式が行われた。（写真左端が假重さん）

今年、「優秀技術者」の表彰を受けたことを大変嬉しく思っています。担当した工事は札元２丁目内の排水路整備工事。多方向から水が集まる難しい場所だったため、下流の隣接工区に影響が出ないように、施工順を関係者と入念に打ち合わせし、現場監督として安全に滞りなく完成するために気を配りました。

建設の仕事をしたいと考えたのは、父が建設業を営んでいたことから。進学した鹿屋農業高校では農業土木を学び、それから専門学校を経て建設業界に入りました。

現場監督は、工事を適正に実施するために現場の進行管理を行う責任者です。その仕事は、工事の施工計画の作成や工程管理、品質管理、技術上の管理、従業員の技術指導など、多岐に渡っています。

また、工事を円滑に進めるために、地域の方々や関係者などとコミュニケーションをとるのも、大事な仕事です。工事が始まる前にはお知らせ文書を配り、工事が終わる前にも声かけを行っています。「ここまでする人はなかなかいない」と言われることもありますが、地域の方々との関係作りは大事だと思っています。

現在携わっているのは昨年９月の台風16号で崩れた輝北町諏訪原の河川の護岸復旧工事。作業員とオペレーター最大15人程度の現場を任されています。河川工事では大雨や土砂崩れによる二次災害の可能性もあるので、天気予報をこまめにチェックするなど、安全に対してとても気を遣います。

毎日の朝礼では、作業員たちとその日の作業手順を確認し、危険な場所や作業などの情報を細かく共有し、リスクの見積もり・改善と軽減対策を話し合います。「ＲＫＹ（リスクアセスメント危険予知活動）」としての一連の作業です。

工事では交通規制などで近くの方に迷惑をかけることもありますが、工事が完了して「ありがとう」や「きれいになったね」などと声をかけてもらった時は、この仕事をしてよかったと感じます。やはりお客様や地域の方々に喜んでもらうのが一番のやりがいです。

建設の仕事の醍醐味は「ものづくり」だと思います。今後も、技術者として安全を第一に、先輩たちをお手本としながら技術を最大限に生かして、今まで以上により良いものを作れるように切磋琢磨していきたいと思います。お客様に喜んでもらえる「商品」をこれからもつくり続けていきたいです。

FMかのや（77.2MHZ）
11月27日（月）9時5分から
假重 健二さんが出演（予定）

「農家民宿」、はじめました。

いま、「農家民宿」を開業する人が増えています。農家民宿を開業すれば、宿泊客に「体験」を提供し自宅に宿泊させることで、収入を得ることができます。宿泊客にとっては、より深くその土地の習慣や文化に触れることができるのも魅力です。一定の条件を満たせば、比較的簡単に開業することができますので、あなたも自宅を使って農家民宿を始めてみませんか。

問市ふるさとＰＲ課（２階）　☎0994-31-1121

夕食でのひとコマ。一緒に食卓を囲めば、まるで家族のよう。

農家民宿とは

農家民宿とは、自宅で宿泊サービスと農山漁村滞在型余暇活動を提供することで、宿泊料や体験料を得ることができる民宿のこと。法令改正による規制緩和により、農林漁業を営んでいない人でも旅館業の営業許可を取得し開業できるようになりました。

市内では平成28年度に４軒が新規開業し、現在５軒の農家民宿が宿泊客の受け入れを行っています。

農家民宿の一日に密着

「民宿しろみず」は、今年３月に開業したばかりの新しい農家民宿。民宿を営む本白水正子さんは、以前から修学旅行生などの民泊を受け入れてきた経験を持ちます。一般の人の宿泊も受け入れたいという思いから、貸店舗だった建物を自宅兼民宿として一部改装し、農家民宿を開業しました。客室として登録したのは７．５畳と４．５畳の和室です。

10月のある日、お客様が空港からレンタカーでやって来ました。事前に予約し訪れたのは、大阪府の北浦さんと中村さん親子の女性３人組。テレビで偶然見た鹿屋の農家民宿に興味を持ち、初めて鹿屋市を訪れました。

３人は本白水さんご夫婦と初対面の挨拶を交わすと、部屋に荷物を降ろし、チェックインしました。

のんびりと田舎を散策

夕食までの時間、３人は民宿の周辺を散策することに。「民

「民宿しろみず」を３月に開業
本白水（もとしろみず） 幸司（こうじ）さん、**正子（まさこ）**さん（白水町）

開業して半年が過ぎ、宿泊されるお客様とご縁が生まれていくことを楽しんでいます。民宿に宿泊するお客様は、気さくな方が多いです。

料理は、自宅の畑でとれる野菜を使った郷土料理。「美味しかった」と言われると嬉しくなります。

お金をいただくので、安全安心に気をつけて、真心こめてゆっくりしてもらうことを心がけています。鹿屋に来て良かったと思われるように、今後も続けていきたいです。

農家民宿で生まれる「出会い」と「田舎旅」

①宿泊客と挨拶を交わす本白水さん　②庭先につるされた「からいも」　③だっきしょ豆腐　④でんぷん汁　⑤「民宿しろみず」
⑥夕食に並んだ家庭料理の数々　⑦一緒に星空を眺める　⑧食事後の団らん　⑨チェックアウト後、握手でお別れ

宿しろみず」は鹿屋体育大学近くの小高い丘にあります。鹿児島湾越しに薩摩半島に沈む夕陽を、3人はゆっくりと眺めました。周囲には薪の燃える懐かしい匂いが広がっています。宿に戻ると、宿自慢の五右衛門風呂の準備がしてありました。熱々のお風呂に驚きつつも、交代で入浴すると、体はポカポカです。

夕食は鹿屋の家庭料理

お待ちかねの夕食は、メインの牛肉のほか「がね」や「塩茹で落花生」、「でんぷん汁」など。鹿児島の家庭料理の数々に、3人は興味津々です。

料理を味わいながら、本白水さんとの会話も弾みます。大阪と鹿児島、それぞれの地域の話や世間話など、話が尽きません。

おもてなしの心に感動

夕食から朝食までの間、3人は満天の星空や昇る朝日を眺めることができました。どちらも「大阪では見られない光景」なのだそうです。

朝食には、北浦さんが食べたがっていた「へちまの味噌汁」がありました。本白水さんのおもてなしです。

「本白水さんとの出会いと鹿屋ならではの体験に、最高の思い出ができました」。3人は民宿の「おもいで帳」に感想を残し、本白水さんとの別れを惜しみつつ、次の目的地へと向かいました。

大阪府岸和田市から観光で来鹿

北浦さん(左)、**中村**さん親子(中・右)

3人でよく旅行に出かけますが、鹿屋は初めて。大阪のテレビで鹿屋の農家民宿を見て、ぜひ泊まりたいと思い、鹿屋を目指して来ました。

実際に宿泊して、本白水さんご夫婦の人柄、田舎散策、五右衛門風呂などどれも最高の思い出になりました。「だっきしょ」「ねったぼ」「でんぷん汁」など普段都会では食べられない料理や和牛「日本一」の地で食べるお肉も感動でした。今度は夫や孫などを連れて、ぜひまた訪れたいです。

山口 敏美さん、せつ子さん

西村 辰朗さん、桂子さん

白濱 脩さん、多佳子さん

私たちも、農家民宿はじめました。

山ちゃん家（新川町）

空き部屋を活用できないかと思い、修学旅行の受け入れから始めました。農家民宿では泊まりに来る方との話を楽しんでいます。主な体験は梅の収穫や梅干しづくり、野菜収穫など。にしめやがね、豚ばら丼など一緒につくることもできます。今後は鹿児島の踊りなども一緒に楽しみたいです。(山口さん)

民宿もんちゃん（南町）

退職後に鹿屋に帰った後、友人に民泊を勧められたのがきっかけです。農家民宿は、様々な方とのつながりと交流ができるのが魅力です。主な体験は自慢のピザ窯で作るピザ作りや野菜収穫。近くのお寺までの散策も楽しいです。地域の方と一緒に、面白い仕掛けを考えていきたいです。(西村さん)

癒しの宿もみじ（上高隈町）

大阪から故郷である高隈に帰ってきて７年目になります。家のもみじは、大阪から持ってきたもの。農家民宿ではお客様との触れ合いに毎回意外性があり飽きません。主な体験はピザ・ジャム作りや高隈の里山散策など。山菜採りが好きなので、高隈の葛などを使った山菜料理も広めたいです。(白濱さん)

INTERVIEW

鹿屋市で初めて農家民宿を開いた堀之内さんに聞く

農家民宿 元気印の菜園畑
堀之内 節子さん、悟さん（吾平町上名）

私は以前研修で訪れたドイツで、グリーン・ツーリズムの魅力を体験しました。そして平成19年に念願の農家民宿を開業し、修学旅行生や観光客、農業研修生、海外の方など、これまで様々なお客様を受け入れてきました。

農家民宿の魅力は、異業種の方と交流できること。また、鹿児島の農業や文化を知ってもらい、我が家からその魅力を発信することもできます。皆さんも民泊の受け入れや農家民宿を始めて、貴重な経験をしてみませんか。

農家民宿のQ＆A

Q.「農家民宿」を開業できる主な条件は？

A. 開業するにあたっては以下の条件があります。

○一軒家であること（マンションは不可）
○自宅の一部を客室として使用できる建物であること（和室・洋室は不問）
○客室の床面積が33㎡未満であること
○建物の民泊部分（客室＋宿泊客が利用する施設）が、家の総面積の半分未満かつ50㎡（約30畳）以下であること
○農林漁業の体験が提供できること
※農林水産物の加工や調理の体験の指導などを提供できる場合も該当します。
○建物に住宅用火災報知機を設置していること
※建物の構造や立地によって細かい条件があります。詳しくは市ふるさとＰＲ課までお問い合わせください。

Q. 宿泊料などについて教えてください。

A. 宿泊料と体験料は、各農家民宿で金額を設定できます。

○旅館などと同様に、宿泊客は宿泊時に料金を支払います。

Q. どのような手続きが必要ですか？

A. 以下のものを準備し、指定の申請書と合わせて保健所に申請する必要があります。

①市ふるさとＰＲ課が発行する農林漁業体験民宿であることの証明書又は市農業委員会が発行する農業者証明
②建物や敷地内の図面、周辺の見取り図
③許認可申請費用（収入証紙23,000円）

Q. 開業資金の支援はありますか？

A. 市の補助金「農林漁家民宿開業事業費補助金」をご利用ください。

◎補助対象経費
○簡易宿所営業許可に係る許認可申請費用
○旅館業法及び食品衛生法の規定による営業許可取得に必要な家屋等の改修費用の2分の1以内
◎補助金額＝上限10万円
※自宅外に体験民宿を開業する場合は上限30万円
◎補助対象者＝市内に居住し農家民宿を開業しようとする人で、開業後に鹿屋市観光協会に５年以上加入し、事業を継続する見込みのある人

農家民宿の開業に関することなど、まずはご相談ください。
問市ふるさとＰＲ課（2階）　☎0994-31-1121

新しい「地域おこし協力隊」を紹介します

グリーン・ツーリズムコーディネーター
村山（むらやま） 寛光（ひろみつ） 隊員（66歳）

「第一次産業など豊富な地域資源を生かし、魅力ある体験メニューづくり、農泊事業者の拡大と育成、営業・広報活動に取り組みます。鹿屋のグリーン・ツーリズムの定着に貢献したいです。」

昭和 26 年垂水市生まれ。
大学卒業後、観光業に従事。海外事業の経験も。10 月から地域おこし協力隊員として市ふるさとＰＲ課に所属。

修学旅行生の民泊受入家庭を募集しています

市及び鹿屋市観光協会では、平成23年度から修学旅行での民泊を受け入れています。これまで延べ２，４７４人の修学旅行生が鹿屋で民泊をし、受入家庭との交流や農業体験等を行ってきました。

県のガイドラインにより、修学旅行生等の民泊については、宿泊業を開業していなくても受け入れが可能です。受け入れに興味のある人は、ぜひご参加ください。

【修学旅行生の受け入れ、農家民宿への宿泊について】
問鹿屋市観光協会
☎０９９４-４１-７０１０
http://kanoyashi-kankokyokai.jp/publics/index/234/

▲農家民宿紹介パンフレット「ここ宿（やっど）」

みんなのイマをパシャ!!

「街フォトスクラップ」

地域

特攻基地跡にこだまする同期の桜

10月14日、平和公園慰霊塔前広場で「旧海軍航空隊串良基地出撃戦没者追悼式」が開催されました。平和公園は、戦時中に特攻基地となった串良基地があった場所。式典には全国から遺族など約150人が参列し、元隊員たちによる「同期の桜」の合唱や、遺書や平和へのメッセージの朗読が行われ、参列者は573柱の御霊に黙とうを捧げ、平和への思いを新たにしました。

地域

高隈地区で「稲刈り行事」

10月14日・16日、上高隈町で、高隈地区コミュニティ協議会による「稲刈り行事」が行われました。16日は、高隈小学校・高隈中学校の児童・生徒や先生、地域住民らが一緒になって、協議会の田んぼの稲を鎌を使って刈り取りました。刈り取った米のうち、モチ米については、平成30年２月に行われる高隈地区の伝統行事「鉤引き祭り」に奉納される予定です。

交通

予約型乗合タクシーが実証運行開始

10月３日、天神町で、「かのや市乗合タクシー（天神・船間地区）」の運行開始式が行われました。このタクシーは、高齢化率が高く公共交通の不便地域に運行される「予約型乗合タクシー」で、今年度、市が初めて天神・船間地区に導入したもの。鹿児島第一交通㈱で予約を受け付け、毎週火・金曜日に天神・船間地区と花岡・西原地区間を１日５便運行しています。

地域

和田井堰で豊作を祈願

10月17日、打馬２丁目の和田井堰公園で、「和田新田土地改良区水神祭」が開催されました。これは江戸時代後期に和田井堰が築造され、川東町までの通水が可能になったことを記念して、毎年行われているもの。この日は、王子町鉦踊り保存会と、光同寺鉦踊り保存会の鉦踊りが奉納され、関係者や地域住民とともに、今年の豊作を祈願しました。

地域

八月口説踊りが７年ぶりに復活

10月17日、川東町の八月口説踊りが７年ぶりに復活し、同町の光同寺鉦踊り保存会とともに、水神碑や田の神像の前で、踊りを奉納しました。八月口説踊りは、もともと紋付袴姿の男性と、紫頭巾に留袖姿の女性が、鉦や太鼓などに合わせて踊る伝統芸能ですが、今回は女性有志の皆さんが踊りの一部を復活。関係者は、町内で久々に舞う踊りに感無量の様子でした。

スポーツ

五輪旗が鹿屋にやってきた

10月13日、2020年東京オリンピック・パラリンピックへ向けての機運を高める「フラッグツアー」の一環で、五輪旗が鹿屋にやってきました。この日は高隈小学校で受け入れセレモニーを実施。子どもたちは、県内を巡回し高隈にやってきた五輪旗をはためかせながら、3年後の東京オリンピック・パラリンピックの成功を祈っていました。

スポーツ

スポーツの秋に心地よい汗を流す

10月9日、鹿屋中央公園やメルヘンスポーツ鹿屋などで「スポーツフェスタinかのや」が開催されました。これは、体育の日に様々なスポーツを体験できる、秋の恒例イベント。この日は21種目の体験が行われ、鹿屋体育大学体操競技部による体操競技体験・実演では、体操器具を操る難しさを体験しながら、同部員の迫力ある演技を楽しんでいました。

スポーツ

グラウンド・ゴルフの熱戦

10月16日、かのやグラウンド・ゴルフ場で「2017南日本新聞社杯グラウンド・ゴルフ鹿屋大会」が開催されました。これは、生涯スポーツとしてのグラウンド・ゴルフの普及振興を推進するとともに、心身の健康増進を図る大会。この日は県内外から1,000人以上の選手が参加し、総合優勝やホールインワン賞などの各賞を目指して熱戦を繰り広げていました。

スポーツ

町内会対抗で健脚を競う

10月9日、輝北コミュニティセンター周辺で「第2回輝北駅伝競走大会」が開催されました。この大会は、4町内会対抗で幅広い年代の選手が男女混成チームを結成して行われるもので、輝北コミュニティセンター周辺の10区間9.5㎞で実施。選手の熱走に、沿道から熱い声援が送られました。

優勝＝市成　2位＝高尾　3位＝平南　4位＝百引

文化

外国のボードゲームに挑戦

10月14日、市立図書館で、「図書館de学び塾～ボードゲームを楽しもう～」が開催されました。これは外国のボードゲームを学びながら遊ぶイベント。参加者は、独特のカードやコマを使った初めてのゲームに、最初は少し戸惑いながらも、外国人講師らから遊び方を学んでいくうちに徐々に面白さを実感。大人も子どもも笑顔でゲームを楽しんでいました。

文化

市役所が寄席に変身

10月20日、市役所ロビーで三遊亭小笑さんによる「ロビー落語」が行われました。小笑さんは下高隈町の出身で、現在「二ツ目」として東京を拠点に活躍し、若手落語家で結成するユニット「成金」のメンバーとしても活動している落語家。落語が始まると、市役所を訪れた多くの人が足を止め、即席の寄席となった会場は笑い声に包まれました。

行政

未来の有権者として学ぶ

10月18日に鹿屋工業高校で、10月20日に鹿屋高校で、選挙出前授業が行われました。これは鹿屋青年会議所と市選挙管理委員会が連携し、投票から未来を考えるきっかけ作りとして行われたもの。鹿屋工業高校では３年生約180人、鹿屋高校では２年生約280人が、実際の選挙で使う投票箱に一票を投じる模擬選挙を通じて、自分の意思で候補者を選ぶことの大切さを学びました。

産業

地元産業の「よかとこ」を体験

10月９日、リナシティかのやで「第８回かのや産業フェスタ」が開催されました。初めてリナシティかのやが会場となった同フェスタには、市内や大隅地域から54社が出店。各店舗自慢の商品やグルメなどのＰＲ・物販のほか、水辺ステージでのダンスや野菜のつかみ取りなどで会場はにぎわい、来場者は地元産業の魅力を感じながらイベントを楽しんでいました。

行政

ハグテラスで餅まき

10月７日、西原４丁目の鹿屋市子育て支援住宅「桜ヶ丘市営住宅（愛称・ハグテラス）」建設工事現場で、上棟式が行われました。これは、地域住民に愛される施設になるように願って行われたもの。この日は、工事関係者による餅まきが行われ、多くの地域住民が、紅白餅やお菓子などを手に取って喜んでいました。住宅は現在入居者を募集中で、平成30年１月に完成予定です。

産業

カンパチの定期便が関西へ

10月19日、鹿屋市漁業協同組合で、「鹿屋市漁協と㈱RETOWN（リタウン）の定期便出発式典」が開催されました。これは鹿屋市漁協が、関西で飲食店などを展開する㈱RETOWN（大阪市）の活魚車を利用し、大阪・中之島漁港への週１回の定期便による「かのやカンパチ」の出荷が始まることに伴い行われたもの。今後、関西での販路拡大や知名度向上が期待されます。

安全安心

災害時の対応や連携を確認

10月６日、鹿屋港で「鹿屋市総合防災訓練」を実施しました。集中豪雨での土砂災害を想定した今年の訓練には、消防や自衛隊などの公的機関のほか、市と防災に関する協定を結ぶ民間企業や周辺住民など約550人が参加。訓練では、避難手順の確認やライフライン復旧、生き埋め者の救出・救護、はしご車による海上救出などの訓練が行われました。

奉仕活動

ボランティアで樹木を剪定

10月16日、株式会社九電工鹿屋営業所によるボランティア作業が行われました。これは同社が、地域貢献活動の一環として毎年10月ごろに実施しているもの。この日は、同社所有の高所作業車を使い、霧島ヶ丘公園のヤシの木を剪定・伐採。普段から高所作業が多い同社ならではの、安全かつ手際のよい作業で、ヤシの木は美しくなりました。

栃木県南部に位置し、ハトムギ、かんぴょう、繭の生産が盛ん。関ケ原の戦いの直前に「小山評定」と呼ばれる軍議が行われた地としても知られる。

小山市と鹿屋市の概要比較（平成29年10月１日現在）

区分	小山市	鹿屋市
人口	167,535人	103,036人
世帯数	68,204世帯	45,506世帯
面積	171.76㎢	448.33㎢
市制施行	昭和29年３月31日	平成18年１月１日
市の花	オモイガワザクラ	ばら

C&Kが橋渡し 祝 小山市と協定締結

協定書を手に握手を交わす小山市の大久保寿夫市長と中西市長

10月14日、霧島ヶ丘公園で、「小山市・鹿屋市C&K橋渡し交流による連携協定」の締結式が行われました。

この協定は、「小山評定ふるさと大使」・「かのやばら大使」として、栃木県小山市と鹿屋市の交流を図り、両市のイメージアップや観光振興に貢献しているボーカルユニット・C&K（CLIEVY＝小山市出身、KEEN=鹿屋市出身）を応援することで、両市の更なる知名度向上、交流人口拡大を図るために締結されたもの。

この日は、同会場でC&K野外ライブが開催されるとあって、協定は約15,000人のC&Kファンに見守れながらの締結となりました。

今後、小山市と鹿屋市は、この協定をもとに農林水産振興、観光振興などの相互支援・連携協力を行っていくことになります。

問市ふるさとＰＲ課（２階）　☎ 0994-31-1121

署名後、C&Kの「NHK紅白歌合戦」出場を祈願してファンとともにガンバロー三唱が行われた

この日のイベントを一緒に盛り上げようと、C&Kライブ実行委員会（市内の青年団体等）が中心となって、おもてなしを実施。全国から集まったC&Kファンに、鹿屋の魅力をPRする絶好の場となった。

霧島ヶ丘公園に 15,000人

全国から約 15,000 人のファンが集まった C&K 野外ライブ

私たちが応援します

かのやで創業してみませんか!!

2月に鹿屋商工会議所で開催された「まるごと"おおすみ"アグリ・フード商談会」。創業後の販路拡大などもサポートされるのが、かのやでの創業メリットの1つ

鹿屋商工会議所、かのや市商工会、日本政策金融公庫鹿屋支店及び鹿屋市では、創業を検討している人を応援するために「鹿屋市創業応援ネットワーク」として、各機関で創業支援を行いながら、定期的な会議などを通じて情報共有を図ることで連携を強化し、創業しやすい環境づくりを進めています。

創業について、具体的なプランを持っている人はもちろん、「ちょっと話を聞いてみたい」、「具体的にどんなことをすればいいの?」など、これから創業を検討する人へも、幅広く無料の相談支援を行っています。

問 市産業振興課（2階） ☎0994-31-1180

創業に関する相談支援

◎自分の店を開店したいが、わからないことばかりで不安がいっぱいだ。誰に相談したらいいかわからない

◎創業に詳しい人に相談したいけど、費用も高そうだ。開業前なので、少しでも費用を抑えたい

など、創業には様々な悩みがつきものです。また、実際の創業には、事業計画書の作成や資金調達など、様々な準備が必要です。

市内で創業を希望する人、創業後の課題を解決したい人など、創業に関するあらゆる場面で、創業応援ネットワークが応援します。例えば

◎事業計画の策定方法を学びたい人

◎創業に必要な資金調達について知りたい人

◎創業に関する勉強会などに参加してみたい人

◎創業前後に、全般的な経営相談を希望する人

など、どんなことでもお気軽にご相談ください。

また、創業応援ネットワークが実施する、所定の創業支援を受けることで、登録免許税（法人の設立などを登記する際に必要な税金）の減額など、国の支援を受けられるようになりますので、創業応援ネットワークをぜひご利用ください。

▲創業に関するあらゆる相談に対応する、「鹿屋市創業応援ネットワーク」各機関の担当者

創業に関する相談・相談予約等はこちら

ワンストップ相談窓口

◎市産業支援センター
鹿屋市北田町3-3-23
☎0994-40-7890

関係機関

◎鹿屋商工会議所
鹿屋市新川町600
☎0994-42-3135

◎かのや市商工会
（串良本所）
鹿屋市串良町岡崎2062
☎0994-63-3032
（吾平支所）
鹿屋市吾平町麓3384-1
☎0994-58-6020
（輝北支所）
鹿屋市輝北町上百引3841-16
☎099-486-1171

◎日本政策金融公庫鹿屋支店
鹿屋市大手町2-19
☎0994-42-5141

創業事例1　地域にこだわる洋菓子店

杤山（はしやま） 潤一（じゅんいち）さん
（38歳）

高校卒業後、鹿児島市や大阪府の料理店に５年間勤務。帰鹿後、市内の洋菓子店で11年修行。

平成28年７月に、美容師の妻・里奈さんが商工会議所などの支援を得て、大手町で美容室を開業したことをきっかけに、創業応援ネットワークの支援を仰ぎ、今年４月、串良町岡崎に洋菓子店「Patisserie（パティスリー） Bon appetit（ボナペティ）」を開業。

お客様から感謝されるのが嬉しくて、作るだけではなく仕入れから販売まで、自分のペースですべてやってみたくなったのが、開業をこころざしたきっかけです。場所は串良商業高校前のバス路線沿い。「程よくマイペースで出来て、程よく来客がある」場所に、偶然空き店舗があって、ここに決めました。

理想の場所は自分で見つけられました。ですが、現実的に創業や経営といった部分はほとんど知りませんでした。それをサポートしていただいたのが、このネットワークです。妻の例を参考にしながら、商工会議所の創業スクールで創業や経営、地域へこだわることの大切さなどを学び、資金面では日本政策金融公庫の融資を利用しました。

鹿屋は、高品質の食材が豊富なので、材料の卵や牛乳、サツマイモなどは鹿屋・鹿児島産を極力使います。また全国各地から、季節ごとに旬のフルーツを仕入れることで、四季を感じてもらえる商品を作っています。

開業してから取り組んでいるのが、地域とのタイアップ。お茶の農家とタイアップして、私が作るお菓子に合うお茶を作ったほか、串良商業高校の皆さんと共同で、新商品の企画や試作などを行っています。

私のお菓子で多くの人が幸せになれるように、これからも素材はもちろん、地域にこだわって精進したいです。

▲夫婦それぞれ商工会議所などの支援を受けて開業

創業事例2　エゴマの可能性を探求

有馬（ありま） 晃一（こういち）さん
（70歳）

これまでに飲食業や衣料品店などを経営し、現在は農産物及び加工品を生産、販売する「こだわり屋」を経営。

平成27年から、友人らとともにエゴマの栽培に着手。エゴマ油やエゴマパウダーなどの加工品に加え、今年新たに商工会の提案・支援でエゴマのドレッシングやラスクなどを開発。

自分の健康維持のためにエゴマの栽培を始め、現在は私を含めた６人で生産者団体「えごま会」を結成、吾平地域を中心に約１万㎡の畑で栽培しています。

当初はエゴマ油を生産していましたが、商工会から、エゴマを使った商品の開発や販売などの提案があり、エゴマの可能性を探求していた私は、事業を始めることにしました。

もともと農産物の生産や加工、販売はしていたのですが、今回は商品開発やパッケージ作成などで商工会の支援をいただき、地元の飲食店などと共同で、エゴマを使ったドレッシングや味噌などを商品化することができました。このほか、市内の菓子店や製茶業者でも、エゴマを使った商品が扱われています。

また、販売では従来の自家販売に加えて、地元の飲食店でも販売してもらえるようになったほか、鹿児島市の百貨店や市のふるさと納税返礼品などでも取り扱っていただいています。これも、商工会のネットワークのおかげだと思います。

国産のエゴマはとても貴重なもの。生産の拡大も考えていますが、まずは高い品質を確保することが大切だと考えます。地域の実情をよく知り、すばやい対応ができる創業応援ネットワークの制度を活用して、吾平の名物にしていきたいです。

▲浅井ゆかりさん（左）が経営する飲食店で加工品を販売

◎大隅よろず相談窓口

県から派遣されるコーディネーターが、経営・商品開発・デザイン等の相談に対応し、経営課題解決を支援します。

○日時＝毎週火・金曜日　10:00 ～ 16:00
○場所＝市産業支援センター
○予約先＝鹿児島県よろず支援拠点　☎099-219-3740

予約制無料相談会を定期開催しています

◎創業なんでも個別相談会

経営やマーケティング、助成金制度のことなどはもちろん、日本政策金融公庫による融資相談まで、相談可能です。

○日時・場所
毎月第１水曜日　10:00 ～ 16:00＝鹿屋商工会議所
毎月第３水曜日　10:00 ～ 16:00＝かのや市商工会串良本所
○予約先＝鹿屋商工会議所・かのや市商工会串良本所

認知症初期集中支援チーム

相談から支援まで

2025年、日本では、いわゆる「団塊の世代」が後期高齢者になることから、５人に１人が75歳以上という、世界でも例をみない超高齢社会を迎えると言われています。そして、高齢化が進むにつれ、認知症になる人も増え、高齢者の５人に１人が認知症になるとも推定されています。

誰もが認知症の人や介護者家族をサポートしていく時代が訪れようとしています。周囲に認知症の人がいることは、決して特別なことではありません。認知症は上手に付き合っていくことが大切な病気です。

認知症が怖くて、見て見ぬふりをしてはいませんか。一人で悩まず、ぜひ相談してください。

問市地域包括支援センター
☎0994-45-6969

▲認知症サポーターキャラバンのマスコット

認知症早期発見 5つのチェックリスト

- □ 物を無くしてしまうことが多くなり、いつも探し物をしている
- □ 薬の飲み忘れや、飲んだかどうか分からなくなることがある
- □ 今日が何月何日か分からなくなる時がある
- □ 一人でいるのが不安になったり、外出するのがおっくうになった
- □ 最近、料理の味付けが変わったと家族に言われた

「認知症予防」3つのポイント

運動する習慣

ウォーキング、水泳、体操、エクササイズなどの有酸素運動を行うと、脳の血流が増すため、認知症予防に効果があるとされています。できれば週５日、１日30分以上の有酸素運動を行いましょう。

いろいろな人たちと交流

読書や新聞を読むといった知的活動をはじめ、人付き合いも増やし、趣味のサークルやボランティアなどに参加して活動的な毎日を過ごしましょう。

認知症初期集中支援チームによる支援

市地域包括支援センター内には、認知症初期集中支援チーム（以下、支援チーム）が置かれています。

支援チームとは、認知症の人やその家族の初期支援を包括的・集中的に行う組織です。

スタッフは、医師や社会福祉士、認知症ケア・在宅ケアの実務・相談業務等に携わった経験のある人など、複数の専門職で構成されています。

なお、支援対象者は、原則40歳以上の人で、かつ自宅で生活し、認知症の症状等があるにもかかわらず、支援を受けていない人です。

支援チームは、寄せられた相談内容をもとに、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族の生活を初期段階で支え、自立生活のためのサポートを行います。

認知症の症状とは

日常生活において、次のような様々な変化が出てきます。

- ○さっき聞いたことが思い出せない
- ○時間や季節、場所などの感覚が薄れる
- ○思考のスピードが遅くなる
- ○料理や作業などの手順を考えられなくなる
- ○元気がなくなる
- ○物盗られ妄想を抱く

などが挙げられます。

認知症の症状のことで困っていませんか

認知症は、早期発見、適切な対処が大切です。本人は気付かない場合が多いので、周囲の人が注意して、早めに相談することにしましょう。

例えば、こんなことで困っていませんか。

- ○認知症の症状があるようだが、どこに相談すればよいか分からない
- ○医療や介護サービスを利用したいが、どうしたらよいか分からない
- ○認知症によると思われる症状が強く、介護や対応に困っている
- ○介護サービスを利用したいが、なかなかうまくいかない

このような場合は、市地域包括支援センターをはじめ、お近くの相談施設に連絡しましょう。支援チームがサポートします。

まずはご相談を！

認知症初期集中支援チーム員が自宅を訪問

認知症の人やその家族の介護状況などを聴き取ります

困りごとに応じた医療・介護サービスを調整

介護サービスの検討や調整、認知症の症状に沿った対応についてのアドバイスなどを行います

認知症の人とその家族の生活を支援

支援後、地域の医療・介護・福祉専門職等へ引き継ぎます

主な相談施設一覧

施設名称	住所	電話番号
市地域包括支援センター	吾平町麓51-1	☎0994-45-6969
寿８丁目サブセンター（ヴィラかのや）	寿８丁目21-2	☎0994-40-3751
寿２丁目サブセンター（朋愛園）	寿２丁目2-1	☎0994-41-2431
大浦サブセンター（悠々）	大浦町14028-6	☎0994-40-9855
花岡サブセンター（花岡の里）	花岡町3979-1	☎0994-46-5151
大姶良サブセンター（慈恵園）	大姶良町226	☎0994-48-2800
下祓川サブセンター（鹿屋長寿園）	下祓川町1800	☎0994-40-8333
輝北サブセンター（みどりの園）	輝北町市成1177	☎099-485-1185
串良サブセンター（以和貴苑）	串良町下小原3103-2	☎0994-62-8871
吾平サブセンター（陵幸園）	吾平町麓3811-2	☎0994-58-5900

※このほか、市内各所に設置している「オレンジのまど」（75か所）や、「かのやオレンジカフェ」（15か所）でも相談できます。設置箇所については、市ホームページで確認できます。

バランスのいい食事

脳血管障害の予防のために、野菜や果物、青背の魚を積極的にとる、塩分をとり過ぎないなど、毎日の食事のバランスにも気を配りましょう。

視覚・聴覚障がい者の皆さんを支えるために
～障がい者ボランティア～

鹿屋点訳友の会

鹿屋点訳友の会は、昭和50年ごろから活動している団体で、現在11人が加入しています。月に2回、定例会を開催しているほか、勉強のため、市外の研修会に参加することもあります。

「社協だより」を定期的に点訳しているほか、「鹿屋市ふれあい福祉まつり」の会次第や「ごみ分別一覧表」など、市から依頼されたものや、個人から依頼された本などを点訳しています。

点訳の作業はパソコンで行います。例えば「社協だより」の場合、まずページごとに各会員で分担して点訳します。それを編集担当者が集約し、1冊にして校正を行います。そして、さらに、別の人が再度校正を行ったうえで、点字用印刷機で印刷して、視覚障がい者に届けるのです。

何度も校正を行う工程があってこそ自信のあるものになり、でき上がると達成感があります。

少ないメンバーで活動していますが、今後も現在の活動を継続し、視覚障がい者の皆さんと、さらに交流を深めたいと思っています。

かのや市音訳グループ せせらぎ

かのや市音訳グループせせらぎは、平成13年9月に発足し、現在、会員9人で活動しています。

モットーは、眼に障がいを持たない人と同じように、早く正確に視覚障がい者へ情報を届けること。「広報かのや」や「社協だより」は、発行日に早速録音し、CDにして視覚障がい者へ届けています。

月に1回、研修会も開催しており、アクセントや表現の仕方などをお互いに勉強し合います。音訳は、文字だけを訳するものと思われがちですが、写真や絵、グラフ、色合いなども言葉で説明します。会員同士で表現を学び合うことはとても大事なことなのです。

グループには鹿児島県視聴覚障害者情報センターの録音図書を手掛けている会員もいます。なお録音図書はインターネット等から利用いただけます。

これまでの活動が評価され、10月には鹿児島県社会福祉協議会会長賞を受賞しました。音訳してほしいなど、ご要望がありましたら、ぜひご連絡ください。これからも会員相互の技術向上を図っていきたいと思います。

市内には、視覚障がい者や聴覚障がい者に、眼や耳に障がいを持たない人と同等の情報を提供する障がい者ボランティア団体が活動しています。
今回は、「広報かのや」や「社協だより」などの音訳や点訳、市内各イベントでの手話や要約筆記など、様々な場で活躍する4つの団体の活動を紹介します。

鹿屋市手話サークル やまびこ

鹿屋市手話サークルやまびこは、昭和50年4月に発足しました。大隅地区唯一の手話サークルであるため、会員は大隅各地から集まり、現在23人が所属しています。週に1回の定例会は、会員同士の自己研鑽（けんさん）の場、親睦を深める場となっています。

なお、定例会には、会員だけでなく、「鹿屋市聴覚障害者協会」の会員である聴覚障がい者も集まります。日頃から聴覚障がい者と一緒にコミュニケーションを図りながら勉強かつ活動しているのが特徴です。

主な活動としては、鹿屋市社会福祉協議会が開く手話奉仕員養成講習会のサポートや、講習会修了後の受け入れ、出前講座の実施などがあります。また、月に1度、機関紙「やまびこ」を発行し、サークルや「鹿屋市聴覚障害者協会」の会員のほか、関係機関にも配布しています。このような活動を通して、多くの人に聴覚障がい者に対する正しい理解と認識を深めてもらうとともに、聴覚障がい者の社会生活に少しでも役に立てればと思っています。

要約筆記サークル ひとしずく

要約筆記サークルひとしずくは、聴覚に障がいのある人、また聞こえにくい人へ必要な情報を伝えることを目的に、平成17年5月に発足しました。一時は会員が1人だけという頃もありましたが、現在は8人で活動しています。

講習会やイベントの前には、集中的に集まって準備を行います。「鹿屋市ふれあい福祉まつり」をはじめ、市内外の福祉イベントへの要約筆記の依頼は、年に5～6回ほどあります。

要約筆記は、話の内容をすばやく要約して書き写す作業で、それには大変な集中力が必要です。このため、3～5人で役割を分担し、10分程度ずつ役割を交代しながら行います。

トレーニングとして、家でテレビの音声を聴きながら、頭の中で要約するといったこともやります。

10月には鹿児島県社会福祉協議会会長賞を受賞しました。まだまだ知らない人も多い要約筆記ですが、活動を通して多くの人に知ってもらうとともに、一緒に活動できる仲間がもっと増えてくれたらいいなと思っています。

鹿屋市社会福祉協議会では、毎年、視覚・聴覚障がい者の自立と社会参加活動の促進を目的としたボランティア養成講習会を開催しています。

また、ボランティアを必要とする人の相談も受け付けています。

問鹿屋市社会福祉協議会
☎ 0994-44-2277

KANOYA
ピックアップ インフォメーション
Information

～今回の注目情報はこの３つ～

農振除外等の申出受付を一定期間停止します
農振計画の見直しのため
20ページ

インフルエンザ予防接種費用を助成します
65歳以上の人などが対象です
20ページ

母子・父子・寡婦福祉資金の貸付を行っています
子どもの進学費用の貸付です
21ページ

募集・申請

「第５期鹿屋市障害福祉計画」等への意見を募集

◎内容＝障害福祉サービスの提供体制確保などの業務目標及びサービス見込量等を設定する「第５期鹿屋市障害福祉計画・第１期鹿屋市障害児福祉計画」（平成30年度～32年度）策定に伴う意見を募集
◎閲覧場所＝市ホームページ、市福祉政策課、各総合支所、各出張所
◎提出方法＝市ホームページ又は閲覧場所にある意見提出用紙を直接持参、郵送、メール又はＦＡＸ
◎提出期限＝12月12日（火）
問市福祉政策課（１階⑲番窓口）
〒893-8501
鹿屋市共栄町20-1
☎0994-31-1113
FAX0994-44-2494
hukushi@e-kanoya.net

地域おこし協力隊企画「サンタdeサイクリング」の参加者を募集

◎内容＝鹿屋の食材を使った軽食を楽しめる、吾平山上陵までのサイクリング
◎日時＝12月17日（日）　９時～13時
◎場所＝鹿屋市役所前駐車場
◎対象者＝小学生までの親子又は中学生以上の人
◎定員＝50人（定員になり次第締め切り）
◎参加料＝高校生以上７００円、中学生以下５００円
※ロードバイクのレンタル有り
※クリスマスに関する衣装で参加すると２００円割り引き
◎応募方法＝電話もしくは氏名・住所・年齢・電話番号を記入のうえメール又はＦＡＸ
◎応募期限＝12月８日（金）
問サンタdeサイクリング事務局（市商工振興課内・２階）
☎0994-31-1164
FAX0994-40-8688
chiikikoshi07@e-kanoya.net

▲地域おこし協力隊が盛り上げます

『西郷どん』パブリックビューイングの参加者を募集

◎内容＝ＮＨＫ大河ドラマ「西郷どん」初回放映時のパブリックビューイング
◎日時＝平成30年１月７日（日）　17時～19時20分
◎場所＝宝山ホール（鹿児島市）
◎参加料＝無料
◎応募方法＝郵便往復はがきの往信用裏面に郵便番号・住所・氏名・電話番号を、返信用表面に郵便番号・住所・氏名を記入し、次の送付先へ郵送
○送付先
〒890-8577
「西郷どん」ＰＶ係
※住所は不要
◎応募期限＝12月８日（金）
※応募者多数の場合は抽選
問県観光課
☎099-286-3010

「60代で60分のウォーキング」の参加者を募集

◎日時＝12月４日（月）　９時30分～11時30分
◎場所＝市保健相談センター
◎対象者＝市内に在住する60歳～69歳の人
◎定員＝20人（定員になり次第締め切り）
◎参加料＝無料
◎申込方法＝直接又は電話
◎申込期限＝11月30日（木）
問市保健相談センター
☎0994-41-2110

「平成29年度後期手作り食品加工講座」の受講者を募集

◎日時・場所

	日　時	場所・電話番号	主な加工食品
1	12/16（土）、17（日）、1/20（土）、2/10（土）、3/10（土）　9:00～ ※12/16（土）は12:30～	市農業研修センター ☎0994-43-9292	蒸しようかん、麺つゆ、甘酒、豚味噌、うるめ節の佃煮　など
2	12/16（土）、1/20（土）、2/17（土）、3/17（土）　9:00～	花岡食品加工実習センター ☎0994-46-2798	いりことレーズンの佃煮、甘酒、シューマイ、おこわ　など
3	12/25（月）、1/27（土）、2/19（月）、3/23（金）　9:00～	向江食品加工実習センター ☎0994-43-4640	豚の角煮、さおしか、茶うけ味噌、ふくれ菓子　など
4	12/20（水）、1/18（木）、2/16（金）、3/2（金）、3/3（土）　9:00～ ※3/2（金）は13:00～	はらいがわふれあいセンター ☎0994-43-8713	ゆべし、鉄火味噌、焼き肉のたれ、すしの具、ハリハリ漬け　など

※各講座の日時及び内容の詳細については、市ホームページにも掲載
◎時間＝2時間半～3時間
◎対象者＝各講座の全日程に参加できる人
◎受講料＝無料
※別途、材料費・保険料として1，000円～2，500円
◎応募方法＝各施設に直接来館するか、電話もしくは氏名・ふりがな・性別・生年月日・住所・電話番号・希望講座施設名を記入のうえ市農業研修センターへメール又はFAX
◎応募期限＝講座初日の12日前
問市農業研修センター
☎・FAX0994-43-9292
kanoken@zenkei.jp

「タニタの健康セミナー・吾平町サイクリング」の参加者を募集

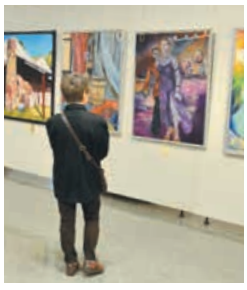
◎内容＝第5回サイクリングヘルスアップ推進事業として実施する、タニタヘルスリンク講師による「タニタの健康セミナー」及び吾平山上陵や小鹿酒造蔵元見学を行うサイクリング、体組成計測
◎日時＝12月3日（日）　9時20分～
◎場所＝リナシティかのや3階フリールーム
◎対象者＝20歳以上の人
※ロードバイクのレンタル有り
◎定員＝30人（定員になり次第締め切り）
◎参加料＝500円（昼食代含む）
◎応募方法＝電話又は申込書に必要事項を記入のうえFAX
※申込書は市民スポーツ課に置いてあるほか、市ホームページからもダウンロード可能
◎応募期限＝11月29日（水）
問市民スポーツ課（5階）
☎0994-31-1139
FAX0994-31-1172

「親子で散策！自然にとけこもう！」の参加者を募集

◎内容＝高峠（垂水市）での自然散策、ネイチャーゲーム、小枝を使ったキーホルダー作り等の体験活動
◎日時＝12月10日（日）　9時～15時
◎場所＝カピックセンター
◎対象者＝小学生以上の人
◎定員＝30人（定員になり次第締め切り）
◎参加料＝300円
※別途、昼食を持参
◎応募方法＝電話又はFAX
問カピックセンター
☎0994-45-3288
FAX0994-45-3258

第36回「鹿屋市美術展」への出展作品を募集

◎展示期間＝平成30年1月21日（日）～28日（日）
◎展示時間＝9時～19時
※最終日は15時まで
◎場所＝リナシティかのや2階ギャラリー
◎応募部門＝洋画、日本画（水墨画を含む）、彫刻、工芸、デザイン、写真、手工芸
◎応募資格＝高校生以上
◎応募点数＝各部門1人4点以内
◎作品規格＝次の要件を満たし、いずれも未発表のもの
○洋画・日本画＝20号以上50号Sまでとし、縁幅5cm以内の仮縁。ガラス不可、アクリル可。額装（吊り金具必須）
※水彩・水墨・版画のみ36．5cm×51．5cm以上
○彫刻＝大きさは等身大まで、重さは70kg以内
○平面デザイン＝B全・B2パネル張り
○工芸＝平面は洋画に準じ、立体は70kg以内
○手工芸作品＝平面作品は150cmまで、陶芸作品は60cm×60cm×60cmまで、立体作品は150cm×100cm×60cmまでとし、いずれも10kg以内
※複数小作品の場合は固定して出品
○写真＝半切以上大全紙までとし、木製パネル貼り又は仮額縁（縁幅5cm以内）
※作品の裏面に住所・氏名・電話番号・題名を必ず記入
◎出品料＝1点2，000円、2点目から1点1，000円
※高校生は無料
※納入された出品料は返却不可
※郵送の場合は、出品料と申込書を現金書留で送付
◎受付・搬入日＝平成30年1月13日（土）　10時～16時
◎搬入場所＝リナシティかのや2階ギャラリー
※郵送の場合は、〒893-0009　鹿屋市大手町1-1　リナシティかのや芸術文化学習プラザへ、平成30年1月12日（金）17時までに必着
問市生涯学習課（6階）
☎0994-31-1138



平成29年度リナシティかのや「リカレント年末特別講座」の受講者を募集

◎内容及び日時等

No.	講座名	期日	時間	定員	材料費
1	クリスマスのパン作り	12/ 9（土）	13:00～16:30	12人	1,000円
2	押し花で作るグリーティングカード	12/ 9（土）	14:00～16:00	15人	500円
3	リフレッシュヨガ体験	12/10（日）	10:00～12:00	15人	無料
4	手打ち年越しそば作り	12/16（土）	10:00～12:00	15人	500円
5	ニットで作るクリスマスのぐるぐるリース	12/16（土）	13:30～15:30	15人	1,000円
6	プリザーブドフラワー正月飾り作り	12/17（日）	14:00～16:00	15人	3,000円
7	クリスマスケーキ作り	12/23（土）	13:00～16:00	15人	1,500円

※応募多数の場合は抽選、定員に満たない場合は、開講できない場合有り

◎対象者＝大隅地域に在住している高校生以上の人
※保護者の参加があれば小学生、中学生も参加可能
◎受講料
○市内在住の人＝500円
○市外在住の人＝1，000円
※いずれも別途材料費が必要
◎応募方法＝申込用紙を直接持参又はFAX
※申込用紙は、リナシティかのや2階総合受付に置いてあるほか、リナシティかのやホームページ（http://www.kanoyashimin.jp/）からもダウンロード可能
◎応募期限＝12月4日（月）
◎その他＝応募期限以降の受講辞退も受講料及び材料費の支払いが必要

問リナシティかのや芸術文化学習プラザ
☎0994-35-1001
FAX0994-43-0744

肝属地区環境ふれあい館の講座受講者を募集

◎内容・日時・定員

日時	内容	定員
12/22（金）9:30～15:00	布ぞうり作り	5人
12/23（土・祝）9:30～12:00	自転車整備講座	1組

※自転車整備講座は親子で参加可能
※応募者が定員を超えた場合は抽選
◎場所＝肝属地区環境ふれあい館
◎対象者＝20歳以上の人
◎受講料＝無料
◎応募方法＝直接来館又は電話で応募するか、氏名・年齢・住所・電話番号・講座名を記入のうえFAX
◎応募期限＝11月30日（木）
◎その他＝12月8日（金）～24日（日）の間、クリスマスワークショップを開催（事前申込不要）

問肝属地区環境ふれあい館
☎0994-62-8101
FAX0994-62-8102

お知らせ

農振除外等の申出受付を一定期間停止します

Pick up

市では、平成24年4月に策定した「鹿屋農業振興地域整備計画」を全体的に見直すことから、農業振興地域に関する相談申出書及び農用地利用計画変更申出書（農振除外・編入・用途変更）の受付を一定期間停止しますので、農振除外など検討している人はご注意ください。
◎個別申出停止予定期間＝平成30年3月6日（火）～平成31年3月31日（日）

問市農林水産課（2階）
☎0994-31-1117

インフルエンザの予防接種費用を助成します

Pick up

◎助成対象者＝市に住民登録している人で、次のいずれかに該当する人
○接種当日に65歳以上の人
○60歳以上65歳未満の人で、心臓・腎臓・呼吸器の機能障害を有する人又はヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障害を有する人で、身体障害者手帳1級の交付を受けている人
◎助成期限＝平成30年1月31日（水）
※医療機関の休診日は除く
◎助成回数＝1回
◎助成費用＝2，000円
◎申請・接種方法＝事前に医療機関に接種日時を電話等で予約し、年齢及び住所が確認できる健康保険証を医療機関に持参

問市保健相談センター
☎0994-41-2110

一人でも雇ったら、労働保険に入りましょう

11月は「労働保険適用促進強化期間」です。労働者を1人でも雇っている事業主は、労働保険（労災保険・雇用保険）に加入する義務があります。
労働保険は労働者が業務災害にあった時や失業した時に適用されるだけでなく、在職中の高年齢者や育児休業中・介護休業中の人への給付制度や職業の資格取得費用を助成する教育訓練給付制度もあります。
また、事業主が利用できる各種助成金制度もありますので、労働保険に未加入の事業主は早急に手続きをお願いします。

問ハローワークかのや
☎0994-42-4135

「鹿屋市オリジナルPR年賀はがき」を発売します

市では、市外の人に鹿屋市を知って応援してもらうため、オリジナルPR年賀はがきを発売します。
◎価格＝520円（10枚セット）
◎発売枚数＝1万枚
※なくなり次第終了
◎発売日＝11月23日（木・祝）
◎発売場所＝霧島ヶ丘公園自由広場（鹿屋市農業まつり会場）
※11月24日（金）以降は市ふるさとPR課で販売

問市ふるさとPR課（2階）
☎0994-31-1121

▲斜線部分にオリジナルデザインが入ります。

Pick up

母子・父子・寡婦福祉資金の貸付を行っています

◎内容＝母子・父子・寡婦家庭の子どもの高校、大学、短大、専修学校等への進学に必要な費用の無利子の貸付（要返済）

◎資金の種類と貸付限度額

	対　象	貸付限度額	返済期限
修学資金	就学のための授業料、書籍代、通学費、下宿代などに必要な経費	月額27,000円～96,000円	貸付を受けた期間の３倍以内（専修学校一般課程の場合は５年以内）
就学支度資金	入学に必要な入学金、アパート敷金などの経費	40,600円～590,000円	７年以内（専修学校一般課程及び修業施設の場合は５年以内）

※学校の種類、公・私立の別、自宅・自宅外通学の別により貸付限度額に違い有り

◎振込日＝申込から1～2か月後

◎返済開始時期＝学校卒業から6か月後

◎申込方法＝市子育て支援課に置いてある申請書に必要書類を添えて直接持参

問市子育て支援課（1階⑱番窓口）
☎0994-31-1134

平成28年度の鹿屋市行財政改革の取り組みをお知らせします

平成27年3月に策定した「未来へつなぐ鹿屋市新行財政改革プラン」に基づいて、平成28年度に実施した行財政改革の取り組みと効果を公表します。個別の取り組み等については、市ホームページをご覧ください。

◎平成28年度の取り組み結果

区　分	項目数	割合
おおむね、目標どおり	69	82.1%
目標に比べ、遅れている	15	17.9%
計画を見直して実施	0	0%
未実施	0	0%
合　計	84	100%

◎平成28年度の主な取り組み

○証明書等のコンビニ交付の開始

○事務事業見直しによる歳出予算の削減

○ふるさと納税制度の拡充

◎行財政改革の効果額

区分	項　目	効果額（千円）
歳出削減	事務事業見直し等	△105,727
	職員数や給与等の削減	△125,157
	合　計	△230,884
歳入増加	遊休資産等の市有財産売却	66,685
	新たな財源創出等	1,435,455
	合　計	1,502,140

タイヤロックなど市税等の滞納処分を強化します

市税等は、福祉や保険等の社会保障をはじめ、教育、道路整備などの市民サービスを提供していくために欠かせない重要な財源です。市では、市税等収入の確保に努めるとともに、厳しい経済環境の中でも納期内に納付されている多くの市民の皆さんとの公平性を確保するため、催告を繰り返しても自主納付が見込まれない場合に、タイヤロックを実施するなど、滞納処分を強化します。

納期内納付が困難な場合は、滞納額が大きくなる前に、納税相談してください。

問市総務課（3階）
☎0994-31-1127

◎平成29年度上期差押状況

区分	差押件数
預貯金	1,773件
国税還付金	16件
給与	29件
不動産	14件
その他	102件
合計	1,934件

※上期（4月～9月）

◎休日相談窓口＝毎月第2・4日曜日　8時30分～17時

◎夜間相談窓口＝毎月第2・4週の17時～19時

※原則水曜日を除く

問市収納管理課（1階⑬番窓口）
☎0994-31-1155

▲悪質滞納者には「タイヤロック」を実施。差し押さえた自動車等を公売し、売却代金を滞納税等に充当します。

移転措置事業における附帯農地の買入年限について

防衛省では、鹿屋飛行場周辺の航空機騒音が著しい区域内の農地（野里町、田崎町）を所有する人が、区域外へ移転したことにより通農することが困難となった農地について、買い入れを実施しています。

◎買入申込方法＝電話

◎買入申込期限

○平成24年12月19日より前に建物等の移転等補償契約を締結した人＝12月19日（火）

○平成24年12月19日以降に建物等の移転等補償契約を締結した人＝契約締結日の翌日から5年を経過する日

※条件等により、申し込みした土地を買い入れできない場合も有り

問九州防衛局防音対策課
☎092-483-8824

相談

不動産無料相談会

◎内容＝弁護士や税理士、土地家屋調査士など専門相談員による不動産相談会

◎日時＝11月30日（木）　10時～15時

◎場所＝市役所6階601・602会議室

問鹿児島県宅地建物取引業協会大隅支部
☎0994-43-0436

イベント

鹿屋市収蔵作品展

◎内容＝これまで市に寄贈された作品や鹿屋市美術展で大賞又は市長賞に入賞した作品等、市が所蔵している絵画・工芸・彫刻・写真等の展示
◎日時＝11月18日(土)～12月3日(日) 9時～18時
◎場所＝リナシティかのや2階ギャラリー
◎入場料＝無料
問リナシティかのや芸術文化学習プラザ ☎0994-35-1001

いんぐりっしゅ☆る～む

◎内容＝英語に興味がある人や英語が好きな人などが自由に英会話を楽しむ交流会
◎日時＝11月15日(水)～12月13日(水)の毎週水曜日 16時45分～17時45分
◎場所＝鹿屋体育大学大学会館2階NIFS(ニフス)ギャラリー
◎参加料＝無料
問鹿屋体育大学国際交流センター国重研究室 ☎0994-46-4893

第39回鹿屋市秋まつり歩行者天国

◎昼の部
○TEENS POP CULTURE FES(ティーンズ ポップ カルチャー フェス)
○TAX(タックス)フェアin鹿屋秋まつり
○おおすみACT(アクト)(生バンド・パフォーマー共演のコンサート、アートマーケット)
○本町ステージイベント
○軽トラ市
○移動動物園
◎夜の部＝北田新酒祭り
◎日時＝11月26日(日)
○昼の部＝10時～16時
○夜の部＝17時～21時
◎場所＝中央地区商店街
◎交通規制＝9時30分～22時
問鹿屋市歩行者天国連絡協議会事務局(鹿屋商工会議所内) ☎0994-42-3135

大隅の食とマルシェの祭典

◎内容＝料理研究家の門倉多仁亜(かどくらたにあ)氏と神野地域がプロデュースする大隅の食材を使ったランチイベント、おおすみハナマルシェと共同実施するマルシェ
◎日時・参加料

イベント	日　時	参加料
ランチイベント「TANIA'S TABLE IN KAMINO(タニアズ テーブル イン カミノ)」	11/26(日) 11:30～13:30	3,500円
マルシェイベント「Christmas Market(クリスマス マーケット)」	11/26(日) 10:00～16:00	無料

※ランチイベントは、11/20(月)までに電話で事前申込(定員80人になり次第締め切り)
※ランチイベントは、中学生以上の人が対象
◎場所＝旧神野小学校
◎駐車場＝吾平運動場周辺
※会場までシャトルバス運行
問おおすみ観光未来会議事務局(市ふるさとPR課内・2階) ☎0994-31-1176

▲1日限りのイベント会場となる旧神野小学校

かのや土曜朝市20周年記念特別企画「大抽選会」

◎内容＝「かのや土曜朝市」に出店する各店自慢の賞品が当たる抽選会、ぜんざいやお茶のふるまい
◎日時＝12月16日(土) 7時～
※賞品が無くなり次第終了
◎場所＝かのやイベント広場
◎抽選券＝毎週土曜日の6時～10時に開催される土曜朝市で、各店舗300円の購入ごとに抽選券1枚を配付
問かのや土曜朝市実行委員会事務局(日髙) ☎090-6898-9475

平成29年度鹿屋市人権問題講演会

◎内容＝人権問題に対する正しい理解と認識を深めるための講演会及び人権ポスター・人権標語コンクール表彰式
○演題＝「頑張れ！あなたは宝物！」
○講師＝露の団姫(つゆのまるこ)氏(落語家)
◎日時＝12月9日(土) 14時～16時20分
◎場所＝市文化会館
◎参加料＝無料
※託児(2歳～6歳)を希望する場合は12月5日(火)までに電話
問市生涯学習課(6階) ☎0994-31-1138

第11回ハートフルウィーク

◎内容・日時・場所

内　容	日　時	場　所
福祉事業所の活動紹介、障がいのある人の作品展示・物販	12/11(月)～16(土) 9:00～16:30 ※12/16(土)のみ12:00まで	市社会福祉会館
映画「共に歩く」上映会	12/16(土) 14:00～15:30	リナシティかのや2階情報研修室

※映画上映会は、電話による予約が必要
◎入場料＝無料
問ハートフルウィーク実行委員会事務局(肝属地区障がい者基幹相談支援センター内) ☎0994-35-4801

Health Care

まちの保健室

朝食を食べて生活習慣病予防

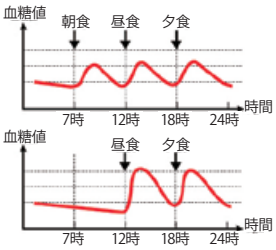
◎大人が朝食を食べていない

平成24年度健康づくり計画の市民調査結果によると、中学生・高校生の7.3％、その親世代である40歳代男性の30.9％の人が、朝食を食べていないという結果が出ています。

◎朝食抜きの生活習慣は、糖尿病の発症リスクが上昇

血糖値の変化には、膵臓から分泌されるインスリンというホルモンが深く関わっています。インスリンは血糖値を下げる働きをもっています。

1日3食の食事を規則的に食べると血糖値の変化は安定しますが、朝食を抜いた場合、血糖値を下げるために一度にたくさんのインスリンが必要になり、昼食と夕食後の血糖値が上昇しやすくなり、膵臓に負担がかかるため、高血糖や糖尿病の原因になってしまいます。



▲朝食を食べた場合（上）と食べなかった場合（下）の血糖値の変化

◎「あさごはん　しっかりたべて　元気いっぱい」

平成29年度「第31回健康増進月間」標語コンクール
理事長賞作品より（西原小学校2年 下田 陽仁さん）

朝食を食べるとすぐに体温が上がり、脳にエネルギーが補給されるため、体も脳も活動状態になります。朝食は、子どもだけでなく大人にとっても大切です。

問 市保健相談センター　☎ 0994-41-2110

「かのやん朝ごはんレシピ」を紹介

スコッチエッグ（調理時間：5分）

◎材料＝卵4個、キャベツ4枚、ベーコン2枚、塩コショウ少々

◎作り方

○1cm幅に切ったベーコンとキャベツを器に敷き、真ん中に卵を割り入れる。

○爪楊枝で卵に数か所穴をあけてラップをかける。

○電子レンジで1分程度温めて、お好みで塩コショウを振ってでき上がり。

※「かのやん朝ごはんレシピ」（鹿屋市食育研究会）の他のレシピは市ホームページに掲載しています。

11月・12月 休日救急当番医・歯科休日急患在宅医

鹿屋市医師会　診療時間 8:30 ～ 18:00

月　日	医療機関	住　所	電話（0994）
11月23日	㊥福田病院	寿3丁目	43-4191
	㊦まつだこどもクリニック	西原2丁目	52-0507
	㊧恒心会おぐら病院	笠之原町	44-7171
26日	㊥みやぞのクリニック	田崎町	40-4600
	㊦おひさまこどもクリニック	新川町	42-7822
	㊧はるしま整形外科クリニック	旭原町	41-2211
12月 3日	㊥児玉上前共立病院（内科のみ）	寿5丁目	43-2510
	㊦こだま小児科	笠之原町	41-5111
	㊧鮫島整形外科病院	寿1丁目	43-2535
10日	㊥中塩医院	西原1丁目	43-2489
	㊦おひさまこどもクリニック	新川町	42-7822
	㊧大隅鹿屋病院	新川町	40-1111
17日	㊥中原クリニック	横山町	48-2011
	㊦やのファミリークリニック	寿4丁目	43-6248
	㊧検見崎病院	西原1丁目	43-2991

肝属東部医師会　診療時間 9:00 ～ 17:00

月　日	医療機関	住　所	電話（0994）
11月26日	入佐内科	吾平町麓	58-7006
	新中須医院	東串良町池之原	63-2010
12月 3日	高山胃腸科・外科	肝付町前田	65-7171
	花田整形外科・リウマチ科医院	串良町有里	63-1379
10日	春陽会中央病院	肝付町新富	65-1170
	はらだ整形外科	東串良町池之原	63-8080
17日	山内クリニック	肝付町前田	65-8181
	岩重医院	東串良町川東	63-8514

鹿屋市歯科医師会　診療時間 9:00 ～ 15:00

月　日	医療機関	住　所	電話（0994）
11月23日	武田歯科医院	今坂町	44-1619
26日	高須歯科医院	高須町	47-2525
12月 3日	下浜歯科医院	川西町	41-5888
10日	中原歯科医院	西原1丁目	43-0088
17日	とおや治歯科クリニック	寿1丁目	40-1811

◎大隅肝属地区消防組合テレホンサービス
☎ 0994-43-0119
平日／午後5時から夜間救急当番医を案内
※ただし、火災発生時は一時火災情報に変わります。
休日／休日救急当番医及び歯科休日急患在宅医を案内

※休日救急当番医及び歯科休日急患在宅医は変更になることがあります。各医療機関にご確認のうえ受診してください。
※休日救急当番医の診療は、急病に対する処置ですので、翌日はかかりつけの医師などの診療を受けてください。原則として、投薬期間は通常1日分とします。

つながる ひろがる

市民のひろば

まちの語り場

霧島ヶ丘公園などに、都城の「川の駅公園」のような施設を作って欲しいです。子どもたちが、自転車に乗りたくても広い場所がない。子どもも「川の駅公園」が好きですが遠いため、鹿屋にも、色んな自転車を低料金で貸してもらえて、思う存分自転車に乗れる場所ができたら、子どもたちも喜ぶと思うので作って欲しいです。（市民の声直行便より）

これまでも「霧島ヶ丘公園で自転車に乗りたい」との声が多くありましたので、公園内の管理用道路などをサイクリングコースとしてリニューアルし、本年4月から供用開始しました。また、ランニングバイクやスポーツサイクルなどのレンタサイクル事業を霧島ヶ丘公園内「ちゃりカフェ」で行っています。今後につきましても、マウンテンバイクコースの整備を行うなど、子どもから大人まで楽しめる公園づくりに努めて参りたいと考えております。

種子島から鹿屋に帰るのに、根占～指宿の高速船を利用しましたが、夕方の便で指宿から根占に着いたとき、目の前で鹿屋行きのバスが行きました。どちらかの時間が5分違えば乗れるのですが、どちらに言っても「会社が違うので…」ということでした。ぜひ、どうにかお願いします。（市民の声直行便より）

指宿から根占へ海上交通を利用して移動する手段としては「フェリー」と「高速船」があります。それぞれの路線バスとの接続を確認したところ、「フェリー」はバスとの接続を考慮したダイヤとなっていますが、「高速船」との接続では、4分しか乗り継ぎ時間がないため、今回のようなことが起こったと推察されます。お便りを受け、「高速船」の運行事業者に、路線バスとの接続を考慮したダイヤへの見直しをお願いするとともに、バスの運行事業者には、高速船利用者への配慮をお願いしたところです。指宿と根占を結ぶ航路は重要な交通手段であると考えておりますので、市としても関係自治体や交通事業者とともに、利便性の向上に努めて参ります。

障がい者用のトイレを、なぜ1階中央に設置していないのか。1階の奥にはあるが、市民が1番利用しやすいのは、中央であると思う。車椅子でエレベーターを使用し、地下まで降りるのは不便であると思う。（尚さん・51歳・女性）

市役所本庁舎では障がい者の方々への配慮として、障がい者優先駐車場の一部へのカーポート設置や、1階フロアの改修、通路の拡幅などを行ったところです。1階中央への障がい者用トイレ設置については、庁舎の構造上困難な状況です。そのため、総合案内等で1階東側（税務課近く）の障がい者用トイレ等をご案内しているところです。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願いします。なお、現在建設中の庁舎別館には、多目的トイレを設置する予定です。今後も、庁舎等の整備を行う際には、市民の皆様の利便性向上に努めてまいります。

よそから嫁いだ者にとっては、長年鹿屋に住んでいても知らないことが多く、「大人の社会見学」はいつも楽しく拝見しています。芝は県内一で一大産地となっていること初めて知りました。8月号の小型の仏像は、垂水の母が生前、「花岡の浄福寺には、それはかわいらしい素敵な仏像があるんだよ」と言っていたのは、これだ！と。厨司入りとは聞いていませんでしたが、久し振りに母の笑顔を思い出すことでした。（N・Nさん・43歳・女性）

広報かのやは市民の皆さんに楽しく読んでいただき、鹿屋市のことをもっと知っていただきたいという思いから、「大人の社会見学」をはじめ、「明日への扉」や「スポットライト」で様々な情報を紹介しています。8月号の小型阿弥陀如来尊像の記事を読んでいただき、N・Nさんにとって素敵な時間となったと伺い、心温まる思いです。これからも、いろんな情報を紹介して参ります。

鹿屋市地域おこし協力隊

かのや活動レポート vol.26

こんにちは！吾平町で地域おこし協力隊をしている松本です。

最近の活動として、わが街・吾平の山の魅力を自分の目や体で確認するため、鹿屋市観光協会のスタッフのみなさんと中岳（通称：吾平富士）登山をしました。

この時に一緒に来てくれたのが、鹿屋自然観察指導員の方です!! 豊富な植物の知識だけでなく、自然との触れ合い方を考えさせてくれる、素敵な登山でした！

今後は、この素敵な体験を多くの皆さんに提供できるような仕組みを作っていきたいと思っています。

今回の報告者
松本（まつもと）功次郎（こうじろう）隊員

Present 11

市民のひろばにお便りをくださった方の中から

さんふらわあクリスマスファミリークルーズ乗船券（大人ペア）をプレゼントします。

2017年のクリスマスは、家族みんなで洋上クルージングに出かけませんか。船上から見る雄大な景色と、船内での楽しいイベントを満喫できる乗船券（大人ペア）を３名様にプレゼントします。

◎日時＝12月23日（土・祝）12:00 ～ 14:00　※雨天決行

◎集合場所＝志布志港フェリーさんふらわあのりば

応募〆切　12月11日（月曜日）

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

㈱フェリーさんふらわあ志布志港
（クルーズ問い合わせ）
☎ 050-3816-3511
志布志市志布志町
志布志3292
営業時間=10:00 ～ 17:00
（土日祝日=10:00 ～ 15:00）

No.285

お手数ですが
62円切手を
お貼りください

893-8501

鹿屋市役所　政策推進課
広報かのや Kanoya「市民のひろば」係　行

お名前／ふりがな

電話番号

ペンネーム　※未記入の場合、イニシャルで掲載します

年齢／性別
歳　男・女

ご住所 □□□-□□□□

プレゼント
要・不要

市民の皆さんからの お便りを募集しています

広報誌への感想や、市へのご意見のほか、地域のイベントや出来事、お勧めスポットなど多くの情報もお寄せください。お便りをいただいた方の中から、抽選で特産品等をプレゼントしています。たくさんのご応募をお待ちしています！

※掲載時に、原稿の一部を手直しする場合もございます。

〒 893-8501 鹿屋市共栄町 20-1
市政策推進課
「市民のひろば」係
☎ 0994-31-1123

スポットライト
～地域で頑張る人たち～
No.11

街を越えて「まちに光を、人に光を、未来に光を」

東西くしら盛り up（アップ）会

地域おこしに取り組むグループは市内に多くありますが、東西くしら盛り up 会は異色の存在。鹿屋市（串良町）と東串良町のメンバーが自治体の境を越えて集まり、「東西くしら」のまちづくりのために活動しています。年齢も職業も、住む街もまったく違う約20人のメンバーは、公園等の草刈り作業などで活動資金を工面し、両地域の活性化と交流促進のためのイベントを開催しています。

今年で5回目の開催を迎える「ヒカリバシHOUEI（ほうえい）」は、両地域を結ぶ豊栄橋を、12月から来年2月までイルミネーションで彩るとともに、12月3日の点灯式では豊栄橋を歩行者天国にして、橋の中央の町境で1年間の橋の領有権を賭けた「町境つなひき合戦」が行われます。このほか、メンバーの職業や得意分野を生かして、重機操作体験やうなぎ放流体験など、多数の体験型イベントが開催されます。

取材したこの日は、各メンバーごとのイベント準備状況などの確認や、活動資金確保の一環の募金箱づくりを実施。多忙な中集まったメンバーを代表して、出水澤直志（いずみざわなおし）さんはこう語ります。

「小さなことでも、自分たちでできることからはじめました。自分でできないことは職業・地域などを越えて仲間を作って、子どもたちが『ここに住みたい、帰ってきたい』と思えるまちを目指して活動を続けていきたいです」

メンバー手作りでイルミネーションを設置。その資金を得るために実施する草刈り作業。メンバーを動かすのは、地域への想い。

メンバーの苦労の結晶、「豊栄橋イルミネーション」。東西くしらを結ぶ架け橋が光で彩られたとき、メンバーは無上の喜びを感じる。

出水澤会長を中心に定期的に会議を開催。メンバーは真剣なまなざしで熱い想いを口にする。

編集後記

認知症支援や障がい者ボランティアはまさに人の「支え」。「支える」という言葉には、重みと温かみを感じます。どんな人であっても、この世に生を受けてから、多くの「支え」があって今があるのでしょう。いい言葉です。（前田）

今号が皆さんのお手元に届くころは、Beaujolais nouveau（ボジョレー ヌーヴォー）の解禁時期。フレンチでは大体コース料理とソムリエさんお勧めのワインなので、いつの日か、アラカルトの料理に銘柄指定のワインで楽しめるようになりたいです。（原田）

鹿屋に住んでいると気づきにくい「鹿屋の魅力」。農家民宿に泊まって体験すれば、その答えが見つかるかもしれません。農家民宿や民泊をされる人は魅力的な方ばかり。「人」こそがまちの魅力なんだと、改めて実感します。（田嶋）

✂キリトリ線

お便り＆メッセージ

ご協力ありがとうございました。

ご応募の際にご記入いただきました個人情報は、抽選・賞品引換券の発送・アンケート統計以外の目的で使用することはございません。

大人の
社会見学

鹿屋の地で育まれた
名品・名産・名所などの
よかもんをご紹介

下方（しもほう）の六地蔵

輝北町市成
市成霊園内

六地蔵とは、元々仏教の概念で、人が死んで生まれ変わると言われる6つの道に現れて、人々の苦しみを救う6種の地蔵をあらわすそうです。

諸説あるようですが、地獄道の檀陀、餓鬼道の宝珠、畜生道の宝印、修羅道の持地、人道の除蓋障、天道の日光、これらの各地蔵の総称のことです。

今回は、昭和58年3月に旧輝北町の文化財指定を受け、現在は鹿屋市指定文化財に指定されている、輝北町市成の「下方の六地蔵」について、前・市成町内会会長の重田嘉康さんに案内してもらいました。

「戦国時代に戦（いくさ）で亡くなった人を供養するため、塔の形に作られたのが、薩摩・大隅の六地蔵塔の起源と言われています。

下方の六地蔵は、下方集落の共同墓地・市成霊園内に設置されています。高さが約2mにもなる大きなものと、高さ約50cmほどの小さなものと、2基が建立されており、塔身は六角形の形をしています。そして、大きな塔の各面には、それぞれ異なった6種類の地蔵が彫刻されています。また、6種類の地蔵は安置の方位まで定められています。小さな六地蔵には、六地蔵の名前が刻まれています。

管理は、中心になって掃除や点検などをする人がいるほか、墓参りに来た人は誰とも無く花を供えるなど、私たちの身近な存在となっています。

この六地蔵には面白い言い伝えがあって、かつては「イボ」の神としても親しまれていたそうです。大きな塔のあちこちには指が入るぐらいの穴が数多く見られますが、その穴に大豆をつめたりして供えて、イボ治療の祈願をする風習が最近まで残っていたそうです。今でこそ手術などでイボを取り除きますが、当時の信仰が垣間見えるエピソードです。

これからも、この地域の守り神として、地域全体で大切に管理していきたいです」

ナビゲーター
前・市成町内会会長 重田（しげた）嘉康（よしやす）さん

Kanoya 広報かのや
KANOYA CITY PUBLIC RELATIONS
November 2017
No.285
平成29年11月13日発行　No.285
（通常版13日・お知らせ版28日発行）
発行／鹿屋市　編集／市長公室政策推進課

ネットで話題の！　テレビで全国放映されました！
小さなお葬式
加盟店 家族葬の池田屋
24時間対応
☎0994-44-4440
0120-41-8844
田崎斎場　鹿屋市田崎町108
バイパス斎場　鹿屋市大浦町14042-8　株式会社 Ligare

絆をつなぐ、新年のご挨拶に。
年賀状印刷承ります
ご注文はお早めに!!
2018年の年賀状は、年末（2017年12月22日頃）まで受け付けております。お気軽にお問い合わせください。
★お年玉付年賀はがきは当社でもご用意できます★
★サンプル以外のデザインも多数取り揃えております★
ヒューマン印刷に徹する 株式会社 新生社印刷
鹿児島県鹿屋市札元1-22-34
TEL 0994(43)2238(代)
URL http://www.shinsei-p.co.jp　E-MAIL kan@shinsei-p.co.jp

ご注文の流れ
①文字原稿・お写真をご用意ください。
プリント写真・SD・USB・CD
メールでもOKです。
E-mail:kan@shinsei-p.co.jp
②マグカップのサイズをお選びください。
2種類ご用意しています。
③お預かりした原稿を元に作成します。
④写真・文字を確認。 出来あがり前を確認できます!!
⑤マグカップ出来上がり!!
オリジナルマグカップ
1個からご注文できます!!
お気に入りの写真で！
プレゼントやご自分用に！
使い方いろいろあります!!
9.5cm
通常サイズ
7.5cm
ミニサイズ（子ども用）
お気軽にお問い合わせください
ヒューマン印刷に徹する 株式会社 新生社印刷
鹿児島県鹿屋市札元1-22-34
☎0994-43-2238

新生社印刷は、南九州の業界で唯一のISO27001（ISMS）認証取得企業です。すべての印刷物を安心してお任せください！
認証NO DAS 53739204/21/I
ISO 27001 認証取得
（鹿屋・鹿児島・宮崎・ここまる）
ISO27001認証取得
鹿屋・鹿児島・宮崎・ここまる 認定　情報セキュリティマネジメントシステム
私たちはお客様の大切な情報をお預かりする責任と情報資産の保護義務の観点から、情報セキュリティマネジメントに取り組んでおります。
ヒューマン印刷に徹する 株式会社 新生社印刷
鹿児島県鹿屋市札元1-22-34
TEL 0994(43)2238(代)
URL http://www.shinsei-p.co.jp　E-MAIL kan@shinsei-p.co.jp

http://ikedasousai.jp
皆様の「あったらいいな」をかたちにしました！
費用を抑えながらも充実内容のプラン
通夜・葬儀もきっちり行い、必要なサービスもすべて含んだ家族葬のプランをご用意いたしました。
親戚や友人を交えて送る 家族葬
158,000円（税別）より
通夜・葬儀でのお食事や飲み物をはじめ、供花・供物やお返し物の持ち込みも当社では無料です。
ちょうどいい広さの家族葬ホール
ことぶき中央斎場
鹿屋市寿4丁目1-18（マックスバリュ寿店前）
にしはら中央斎場
鹿屋市今坂町12403-9（マックスバリュ西原店前）
●家族葬のご依頼・ご相談は
心を尽くし、心を動かす。
池田葬祭 ikeda sousai
つむぐ こころ
☎0120-269-556
鹿屋市王子町3967-3（バイパス沿い）
365日24時間受付!

たくさんの思い出をありがとう。
一緒に過ごしてきた家族だから感謝の気持ちを込めてお見送り。
http://kanoya-pet.com/
ペット葬祭・霊園
夢眠 むーみん
お問い合わせ・ご相談は
☎0994-45-3400
〒893-0132 鹿児島県鹿屋市下高隈町6000-7（きもつき苑手前）
（有）池田大仏堂グループ

鹿屋市役所　☎0994-43-2111
吾平総合支所　☎0994-58-7111
輝北総合支所　☎099-486-1111
串良総合支所　☎0994-63-3111

鹿屋市共栄町20番1号
吾平町麓3317番地
輝北町上百引3914番地
串良町岡崎2081番地

広告のひろば

㈱新生社印刷
☎0994-43-2238

広告のひろばは、各事業所の広告を掲載することで、市民の皆さんへの情報提供を目的としています。また、市の自主財源確保の一環として行っています。
広告に関するお問い合わせは、印刷会社、市政策推進課になります。
お気軽にお問い合わせください。